

世田谷村日記

石山修武

八月二十二日 日曜日

朝八時過起床。ニコライが朝からじゃれついてくる。猫の暮しは誠にシンプルでうらやましい限りだ。何の物音もない朝である。ここしばらくTVを観ていないのでアテネ・オリンピックも遠い出来事である。メダルラッシュの日本人選手達のものおじしない態度が話題になっているようだが、どうもピンと来ない。スポーツは結果が出やすいが、生活は簡単にはそれが出にくい。ニコライの独人あそびをボーツと眺めながら、無為の時を過ごす。友美より電話入る。パークレーでアパートも決まり何とかやっているとの事。十二時前、研究室。野村が一人森の学校のまとめを頑張っていた。明日の入札の打合わせ。本当に建築設計業は苦勞、心勞が多くて、報われる事が少ない。しかし、やり抜くしかない。イヤな事も必ず通り過ぎてくれるのだろう。あと十五年、走り続ける事ができれば良い。一人で、他人に迷惑をかけないようにするには。支援してくれる人も少なくはない。けれど、それを頼りにしてはいけない。要するに一人だ。十五時二〇分京王線明大前附近。新大久保駅前のソバ屋で遅い昼食を取った帰り。二十一時宗柳で軽井沢から戻った家内と遅い夕食をとる。

八月二十三日

八時半野村と新宿待ち合わせ。小田急線鶴間。十時、大和市役所福祉センターで森の学校の公開入札説明。その後古木理事長等

と打ち合わせ。昼前修了。野村はここ一週間程ブーツと研究室泊りで頑張ったようだ。昼過新宿でねぎらいの昼食をとる。野村と久し振りに色んな話ができ良かった。十四時半頃新宿高島屋十階かのソバ屋でのごくろうさんの会終わる。野村には私が今考えていて私がもう出来そうにない事を幾つか伝えた。マア、これが先生と言はれる程のバカは無し、されど先生の特権だろう。百年の計とは言わぬが、三十年の計くらいは考えているのだ。少し、昼からビール位で酔ったな。世田谷村に一度戻って三時間くらい休もう。今年の後半は進行中の現場の山になる。皆見なくてはならぬから、体には悪いぜこれは。十七時前、世田谷村発新宿へ。チョツとした用件を片付ける。二〇時前世田谷村戻り。

八月二十四日

十時前世田谷村発、九月の展覧会の打ち合わせの為、青山の「ときの忘れものギャラリー」に向かう。ロシアでもらったカゼが抜けず、体調悪し。十一時ときの忘れものギャラリー。綿貫さん、塩野君打合わせ。スケジュールがそろそろきつくなってきた。昼食を近くのアジア料理屋でこちそうになる。十三時四〇分まで。体調思わしくなく世田谷村に戻る。

八月二十五日

昼過より研究室で打合わせ幾つか。夕方厚生館現場。二十時頃世田谷村に戻る。夜半迄銅版画に取り組む。

八月二十六日

十時三〇分東京丸の内にて打合わせ。十二時前修了。十四時新木場にて定例打合わせ。十五時半研究室へ。十七時群馬の森田兼

次左官大将と伊豆松崎、伊豆の長八美術館改修工事に関する打ち合わせ。必要があり、松崎町役場の森秀巳さんと久し振りに電話で話す。友人というのは有難いものだ。沈んでいる気持ちがフツト浮いてくるのを実感する。十八時頃新大久保駅前のソバ屋で森田親子と飲む。森田さんの人徳であろう、随分気持ちが平安になる。